

宗岡中だより



10月号 平成29年9月29日(金)
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

「体育祭 仲間と共に 壁を超える」

校長 佐藤哲浩

今から約半世紀前、メキシコシティでメキシコオリンピック（1968年）が開催されました。この大会で陸上競技において多くの世界新記録が生まれます。その中でも特に有名な記録は、一つはボブ・ビーモン選手の走り幅跳び（8m90cm）、もう一つはジム・ハインズ選手の100m（9.95秒）です。メキシコシティは標高2200mに位置しているため、空気抵抗が少なく、無酸素運動の競技には有利だったのです。陸上関係者からは、「この記録は当分の間破られないだろう」と言われました。

しかしながら、走り幅跳びはマイク・パウエル選手（1991年、8m95cm）、100mはカルビン・スミス選手（1983年、9.93秒）によって破られます。特に100mでは平地でも次々に10秒の壁を破る選手が出てきたのです。世界記録が目標とされ、技術の研究・向上によって新たな世界記録が生まれるのです。リチャード・ブランソンの名言、まさしく「記録は破られるためにある」のです。（Records are made to be broken）

そして日本でも9月の大学選手権で、桐生祥秀選手が日本人として100mで10秒の壁を破り、9.98秒の日本新記録を樹立しました。いよいよ日本人選手も9秒台への突入です。桐生選手は、高校時代の自身の記録（10.01秒）を破るため、日々トレーニングに励んできたそうですが、個人的には8月に開催された世界選手権の100m代表になれなかった悔しさが、この記録を打ち出すバネになったのではないかと考えています。これから多田選手、ケンブリッジ選手、サニー・ブラウン選手等が次々と9秒台を出すことでしょう。その記録を目標に新たな選手が歴史を作る、それがスポーツの世界だからです。



話は変わって、9月16日に第43回体育祭が開催されました。台風が接近し今にでも雨が降りそうな中、多くの保護者、地域住民の皆様にご来校いただき誠にありがとうございます。またPTA本部の方々には、体育祭の準備・当日の接待等にご尽力をいただき感謝しております。プログラムを一部変更しましたが、雨天前に全競技を終了することができました。今年の体育祭のスローガンは、「不撓不屈 ～どんな壁も仲間と共に～」です。各クラスで練習してきた成果を発揮し、新たな壁を突破しようと生徒たちは、精一杯取り組んでいました。1年生は上級生に比べ体つきは小さいですが、はつらつと競技に取り組んでいました。2年生は個人種目、リレーでこの一年間での成長を感じました。3年生はさすが最上級生、リレー、学年種目、大縄跳び、どれも迫力があり見応えがありました。そして、担任の先生が声を嗄らして自分のクラスを応援したり、伴走したりしている姿を見て教職員を誇らしく感じました。宗岡中の良き伝統を今後も継承して欲しいと思います。